

H19度  
特別研究(学長権限)報告書  
図表

静岡県立大学短期大学部  
看護学科 白石葉子

図1 ~ 7

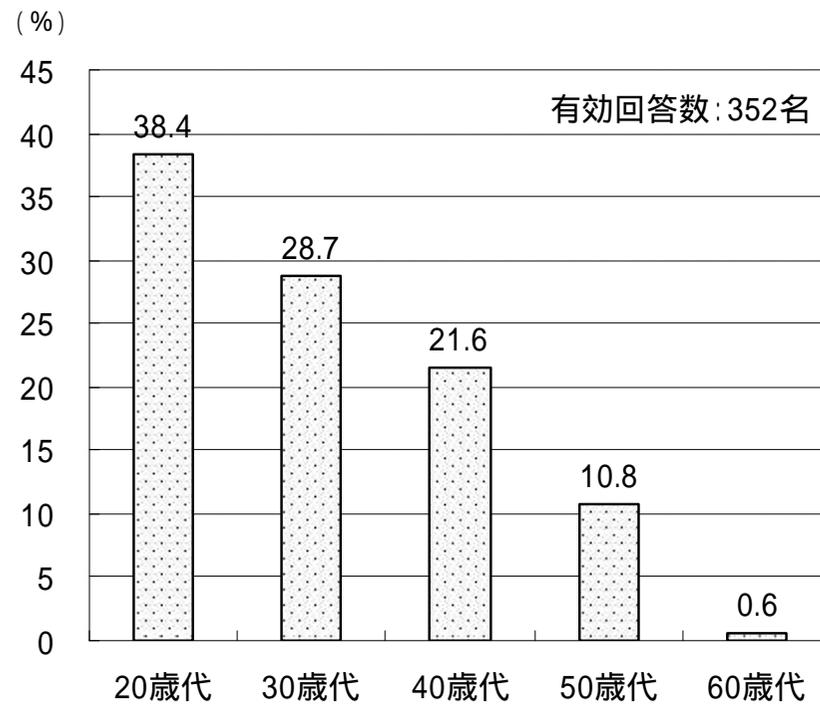


図1 対象者の年齢構成 無回答:3名

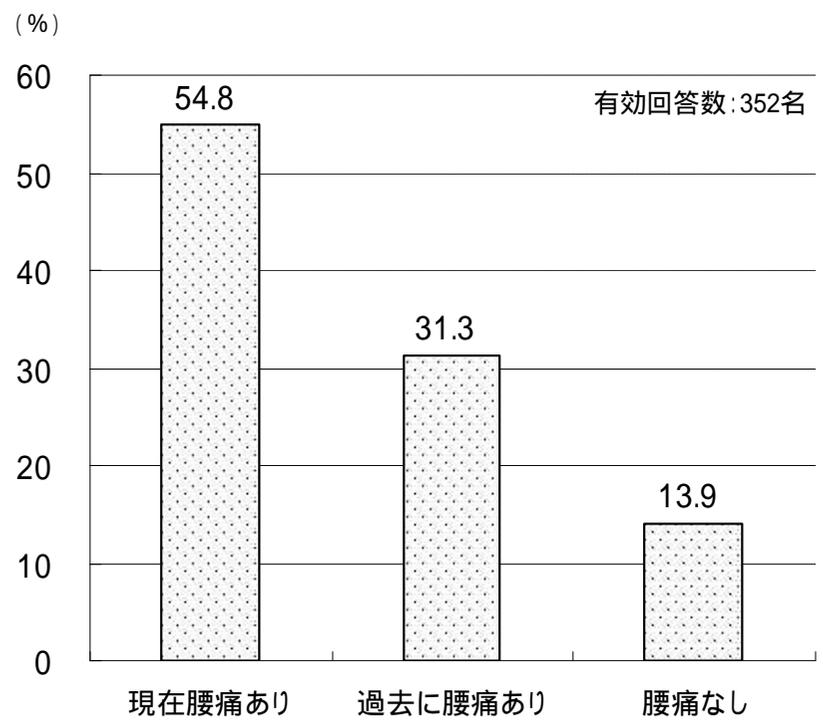


図2 腰痛の有無

無回答: 3名

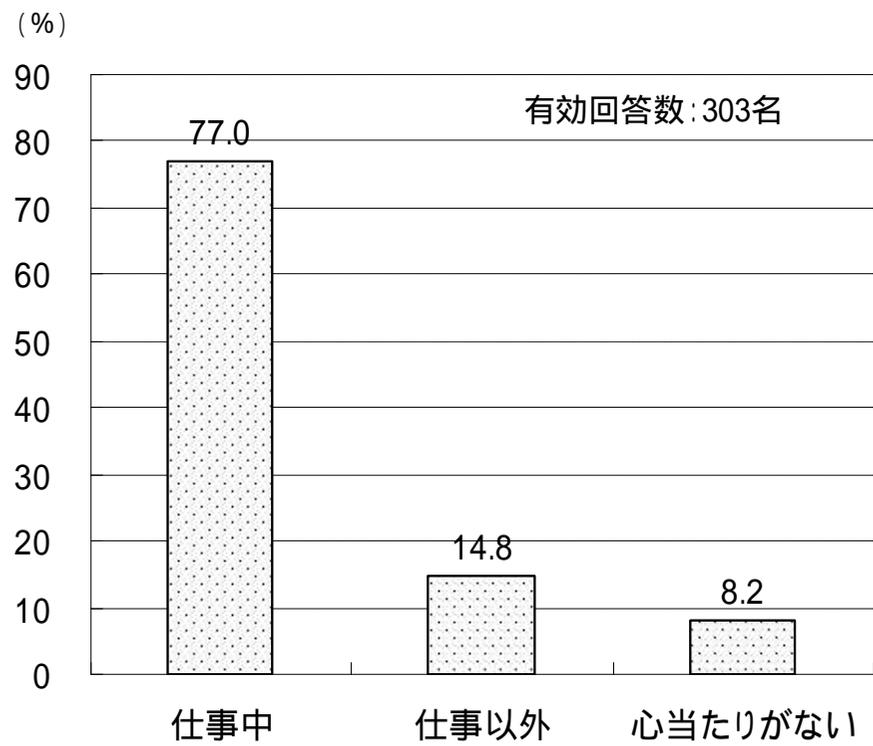


図3 腰痛の発症原因

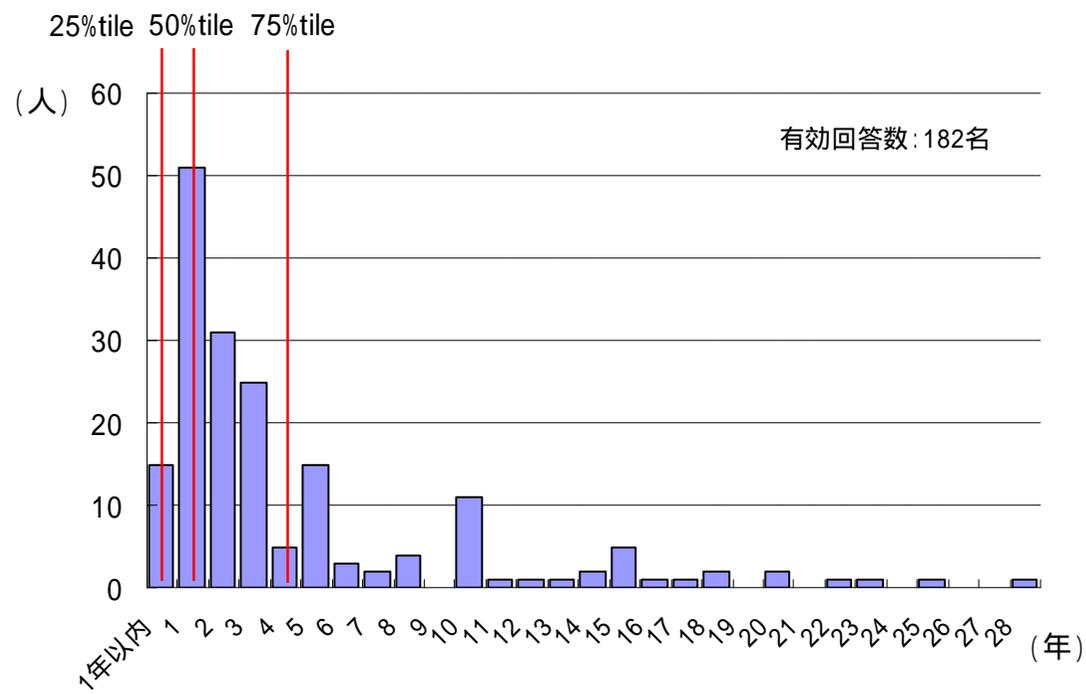


図4 看護師になって何年後に腰痛が発生したか 無回答: 42名

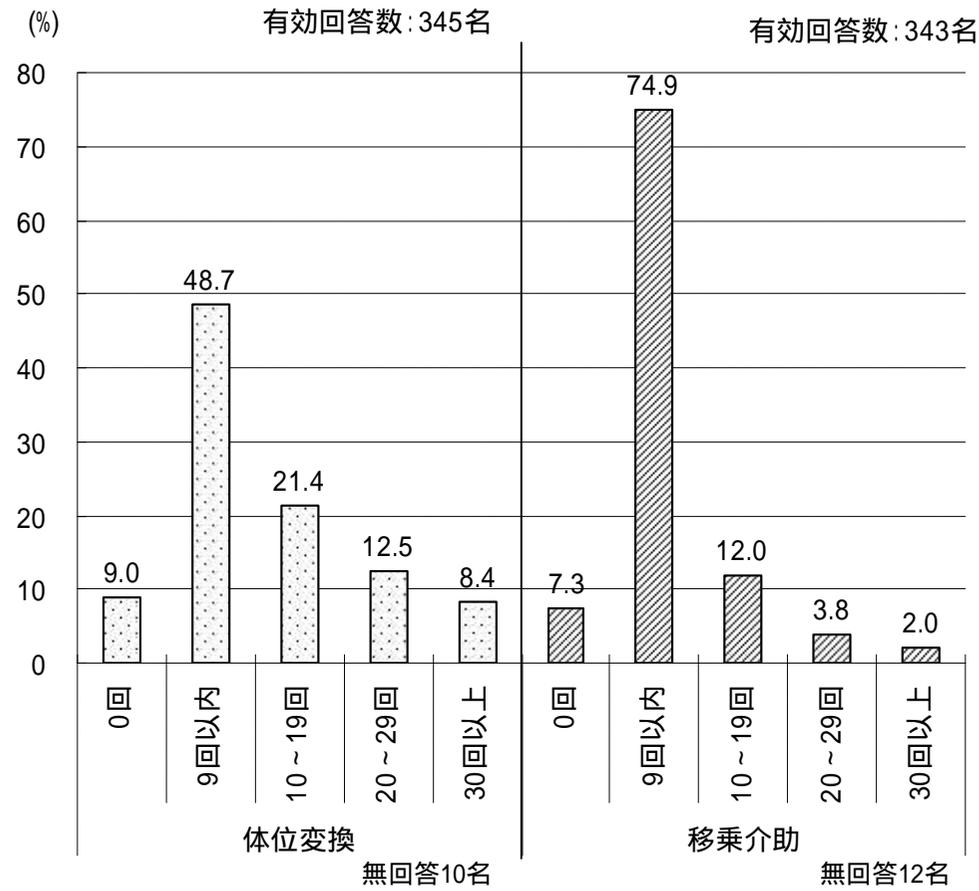


図5 一勤務帯における体位変換・移乗介助の回数

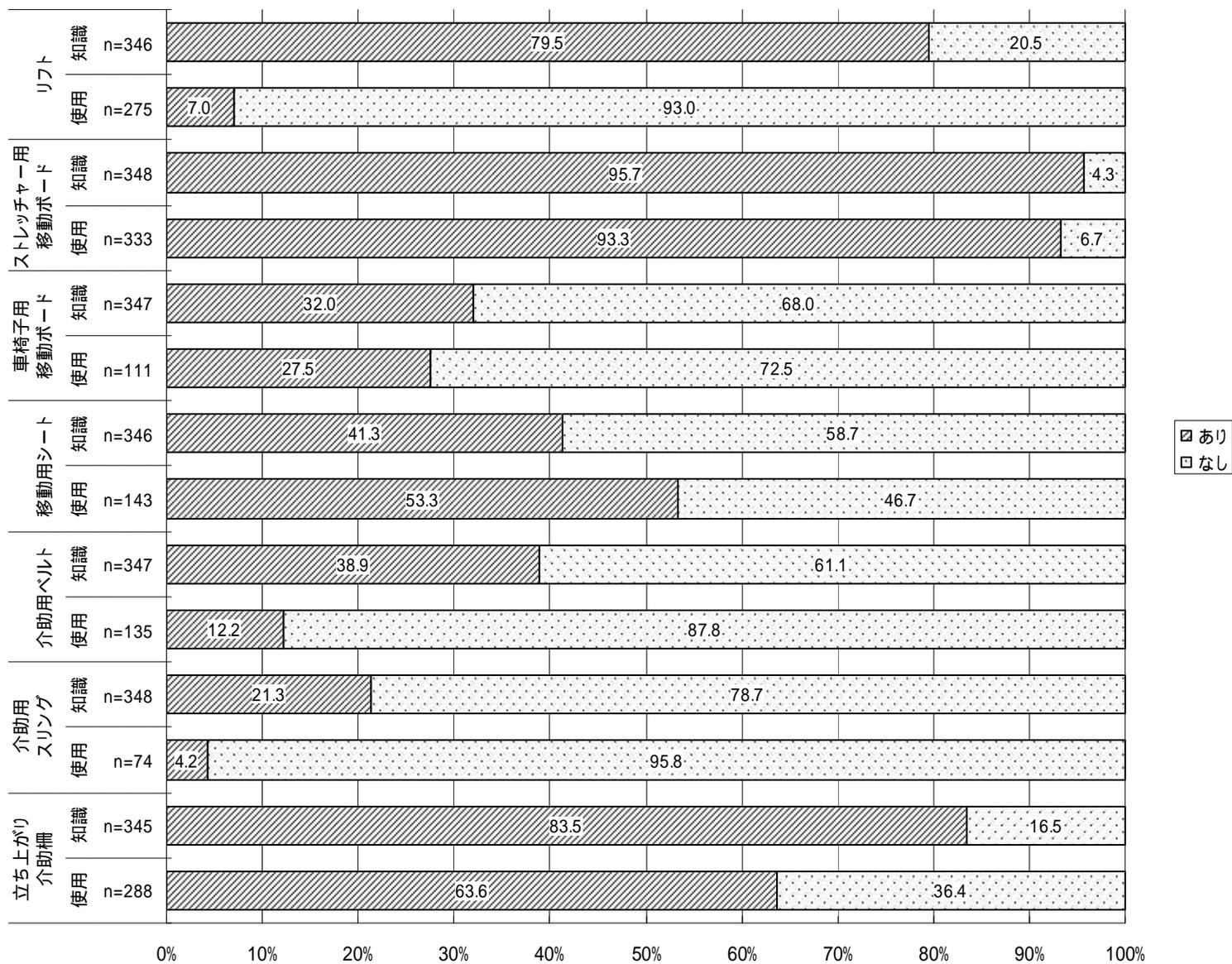


図6 移乗介助用具の知識の有無と使用の有無

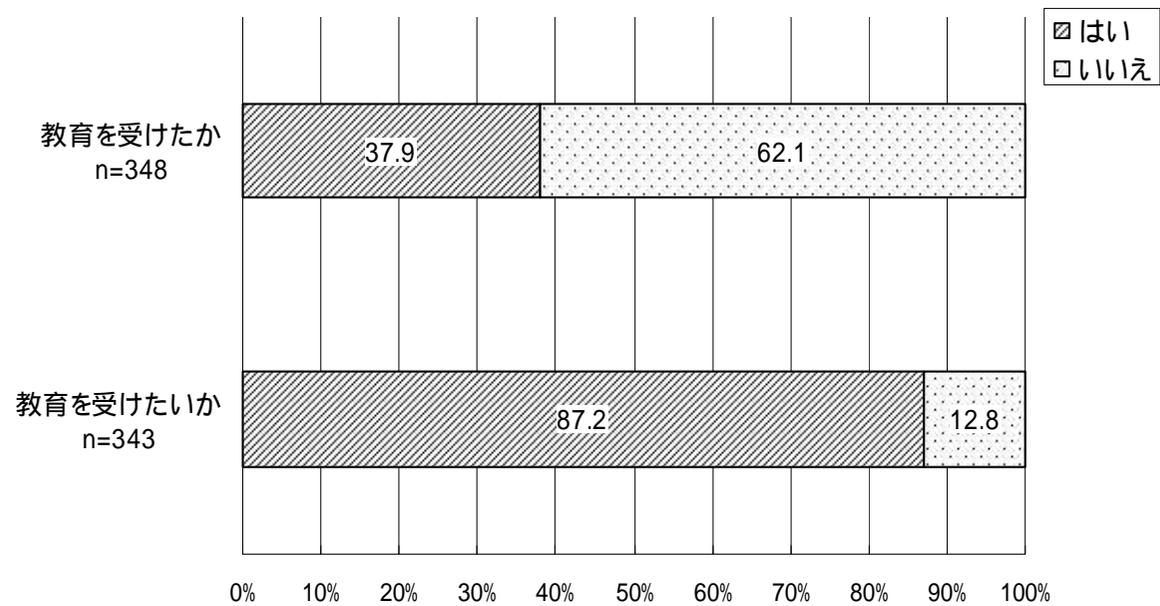


図7 移乗介助に関する教育の有無と教育の希望

表1 ~ 10

表1 各病棟におけるアンケート回収数

病棟	配布数	回収数	回収率(%)
外来	55	49	89.1
救命救急センター・ICU	51	37	72.5
消化器内科	27	25	92.6
脳神経内・外科(脳卒中センター)	26	22	84.6
OP	22	21	95.5
循環器内科、心臓血管外科(混合)	24	21	87.5
内視鏡・外来検査	19	19	100.0
外科	23	17	73.9
産婦人科、整形外科	31	17	54.8
眼科、耳鼻科、歯科、皮膚科、外科、形成外科(混合)	23	16	69.6
血内、内分泌、腎内(混合)	24	16	66.7
回復期リハビリ	15	15	100.0
小児・成人・老人(混合)	19	15	78.9
透析	15	14	93.3
整形外科	26	12	46.2
神経内科、循環器、泌尿器	24	11	45.8
NICU	12	10	83.3
療養	10	10	100.0
健康管理科	8	6	75.0
地域医療相談科	3	2	66.7
合計	457	355	77.7

表2 対象者の性別

	数(人)	割合(%)
女	344	97.7
男	8	2.3
計	352	100

n=355

無回答3名

表3 年代別の腰痛の経験率

年代	数(人)				各年代における腰痛 の経験率(%)
	n	現在・過去に 腰痛あり	腰痛なし	不明	
20歳代	135	120	15	0	88.9
30歳代	101	85	16	0	84.2
40歳代	76	62	14	0	81.6
50歳代	38	35	3	0	92.1
60歳以上	2	0	1	1	50.0
計	352	302	49	1	

表4 現在腰痛がある人の痛みの程度

n=193

程度	数(人)	割合(%)
1～3未満	30	15.8
3以上5未満	59	31.1
5以上7未満	61	32.1
7以上9未満	33	17.4
9以上	7	3.7
計	190	100

無回答3名

表5 仕事中に発生した腰痛の原因(複数回答)

n=303

原因	回答数	回答割合(%)
患者が重かった	158	71.5
無理な姿勢で動作をした	119	53.8
立ちっぱなしが多い	102	46.2
急に持ち上げた	37	16.7
腰を捻った	32	14.5
医療機器等が重かった	13	5.9
その他	19	8.6

無回答3名

表6 腰痛発生時の治療形態

n=303

	数(人)	割合(%)
特に治療なし	184	65.7
外来治療	93	33.2
入院治療	3	1.1
計	280	100

無回答23名

表7 現在の治療の状況

n=96

	数(人)	割合(%)
現在は治療していない	67	72.0
現在も治療中	26	28.0
計	93	100

無回答3名

表8 腰痛の治療や対策の内容（複数回答）

n=298

	数(人)	割合(%)
痛み止め・シップなど	131	44.0
姿勢に気をつける	120	40.3
特に何もしていない	108	36.2
コルセットなど	69	23.2
その他	12	4.0

無回答5名

表9 移乗介助に関する教育を受けたところ (複数回答)

n=132

回数	数(人)	割合(%)
看護師養成機関	98	74.2
院内研修	24	18.2
院外研修	16	12.1
その他	9	6.8

表10 移乗介助の教育をどこで受けたいか

n=299

	数(人)	割合(%)
院内なら受けたい	241	88.0
院外でも受けたい	28	10.2
その他	5	1.8
計	274	100

無回答25名